

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		準決勝	
日時	平成30年1月7日 (日)		9:00 ~
会場	伊達市総合体育館 Bコート		
結果	<p>士別南 名寄</p> <p>62</p>	<p>13 - 5 14 - 10 15 - 10 20 - 5 OT</p>	<p>帯広翔陽 帯広</p> <p>30</p>
審判	主審 獄山 敏嗣	副審 伊藤 陽介	

第32回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

士別南		名寄						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	田口 夢花	×	14	0	7	0	11	2
5	伊藤 姫厘	×	23	2	6	5	3	3
6	伊藤 遥奈	×	4	0	2	0	6	2
7	粥川 実聖	×	5	1	1	0	4	4
8	菅原 ほのか	×	12	0	6	0	3	2
9	高橋 なつ	/	2	0	1	0	0	0
10	庄司 聖奈	/	2	0	1	0	0	2
11	齋藤 心奈	DNP						
12	松原 愛	DNP						
13								
14								
15								
16								
17								
18								
HC	三上 貴也							
合計			62	3	24	5	27	15

帯広翔陽		帯広						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	石野 さくら	×	3	0	1	1	5	3
5	嶋 望早	×	5	0	2	1	1	2
6	須田 香音	DNP						
7	後藤 あかり	×	6	0	2	2	8	1
8	佐藤 千広	/	0	0	0	0	0	1
9	丸山 ほのか	DNP						
10	本間 菜々実	DNP						
11	新保 瑠空	×	2	0	1	0	0	3
12	青田 礼衣	DNP						
13	山崎 莉子	DNP						
14	市橋 令菜	/	0	0	0	0	0	0
15	太田 彩巴	DNP						
16	金尾 美青	/	4	0	2	0	1	0
17	橋本 彩永	/	0	0	0	0	1	1
18	野村 美桜	×	10	0	4	2	5	3
HC	川岸 仁							
合計			30	0	12	6	21	14

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

北北海道代表同士の対戦になった準決勝。北大会では20点差で帯広翔陽が勝利している。士別南#4.5.6.7.8帯広翔陽#4.5.7.11.18でスタート。
 1Q:両チーム硬さが目立ち開始2分間無得点が続く。士別南はインサイド、帯広翔陽はドライブからペースをつかもうとするも、ターンオーバーが多く、シュートまでいけない。残り3分、初めにペースをつかんだのは士別南。#5のゴール下シュートと3Pで9-3とする。さらに士別南#4のオフェンスリバウンドからの力強いシュートで加点する。終了間際に#8のスティールから速攻が決まり、13-5で終える。
 2Q:一気に点差を離したい士別南は#5の3Pが決まり、幸先のいいスタートを切る。さらに#5のジャンプシュート、#7の3Pが決まり22-8とリードを広げる。対する帯広翔陽は#5.7を軸に得点を狙うも、シュートを決めきることができない。残り1分、士別南は#8の速攻、#4のオフェンスリバウンドからのシュートで加点、帯広翔陽は#7のドライブや#4のFTなどで加点し27-15で前半終了。
 3Q:立ち上がり、士別南#4のシュートから始まる。帯広翔陽はディフェンスをオールコートマンツーマンに変えてペースをつかみにくくも、士別南#4.5.7がしっかりとボールをキープしペースを譲らない。残り3分、士別南の#6の速攻が決まり38-21とする。終盤、手堅くFTを決めた士別南が点差を詰めさせることなく42-25で終了。
 4Q:帯広翔陽は引き続きオールコートマンツーマンで速い展開に持ち込もうとするも、士別南は#4もボール運びに参加し、簡単にボールを失わない。両チームともフィールドゴールの決まらない重い展開が続く中、残り6分を残して帯広翔陽がタイムアウト。重い展開を打破したのは士別南。#4.6.10の速攻、#5のジャンプシュートで52-26とタイムアウト明け3分間で点差を一気に広げる。その後も攻め続けた士別南が62-30で北大会のリベンジを果たし、決勝へ駒を進めた。